令和2年度地域間幹線系統確保維持計画

分科会名:安房分科会

○事業に係る目的・必要性、目標、効果、取組

No.	事業者名	系統名	起点・終点	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果	3. 目標を達成するために行う事業(生産性向上の取組を含む)		
			(主な経由地)			取組内容	実施時期	実施主体
	館山日東バス	市内線	館山航空隊•	・館山駅、道の駅	(参考値) 平成30年度 収入の1%の額 266,000円 ・収支率の改善 ・収支率の改善 ・収支率の改善 ・収支率の改善 ・収支率の改善 ・収支率の改善 ・収支率の改善 ・収支率の改善 ・収支率の改善 ・お線の見直しに向けた検討 ・ の見直し。 国道127号館山バイパスにの商業施設経由便の設定。 安房地域医療センターへので セス強化等。 ・それぞれの市で作成する公・通網計画において、館山市及で 房総市が連携して、利用者の・	【貨客混載】		
	株式会社		小浜(館山駅・	とみうら枇杷倶楽		・買い物支援や高齢者の運転免許	令和元年	館山市・南房総市・
			なむや)	部等交通結節点へ		証自主返納促進の一環として、貨	10月以降	館山日東バス(株)
				のアクセス		客混載の可能性を検討する。	実施予定	
				・亀田ファミリー		【路線再編】		
				クリニック館山等		・路線の見直しに向けた検討	令和元年 10月以降 実施予定	館山市・南房総市・ 館山日東バス(株)
				医療機関への通院		館山駅~宮城間の他社競合区間		
				イオンタウン館		の見直し。		
				山等商業施設への		国道127号館山バイパス沿い		
				買い物		の商業施設経由便の設定。		
				・富浦地区小学生		安房地域医療センターへのアク		
				の富浦小への通学		セス強化等。		
				・その他、通勤や				
				各高校への通学等		・それぞれの市で作成する公共交		
						通網計画において、館山市及び南		
						房総市が連携して、利用者のニー		館山市・南房総市
						ズに合わせた路線の見直し等に		
						ついて検討を進める。		

	【観光利用】 ・沿線観光施設を訪れる観光客の取り込みのため、企画乗車券やバス利用者への特典付与の仕組みを検討する。	令和元年 10月以降 実施予定	館山市・南房総市・ 館山日東バス(株)
	・バスで観光スポットを巡るコースのPRや紹介記事の発信を行う。 ・観光施設や市の観光担当部署と連携してアクセス情報の発信の際にバスの情報も掲載する。 ・宿泊施設経由で、バスの利用を呼びかける。	令和元年 10月以降 実施予定	館山市・南房総市・ 館山日東バス(株)
	【その他】 ・買い物目的の利用者に対するインセンティブの付与等について、イオンタウン館山と協議を行う。 ・企画運賃、当該路線と接続する他社バス路線との共通乗合運賃を検討する。 ・高校生へのバス運行時刻、バス活用方法等の周知活動を行う。 ・市広報紙に啓発記事を掲載する。また、同じ内容の広報をバス車内に掲出する。		館山市・南房総市・館山日東バス(株)